

イラク戦争と自衛隊

三崎貴士（宇都宮大学農学部1年）

1、

2003	3月20日	イラク攻撃開始
	5月1日	戦闘終結宣言
	7月	イラク復興支援特別措置法が成立
	10月	国連安保理で多国籍軍を容認
	12月9日	イラク特措法に基づく自衛隊派遣などの基本計画を決定 陸自：医療、給水、学校などの公共施設の復旧・整備など 航空：人道関連物資などを輸送 海上：隊員や装備などを運ぶ
	12月18日	イラク派遣に関する実施要項を決定
	26日	航空自衛隊の先遣隊第一陣がクウェート、カタールに出発
2004	1月16日	陸上自衛隊の先遣隊が出発
	22日	航空自衛隊本隊第一陣が出発
	2月3日	陸自本隊第一陣（約90人）が出発、8日サマワ入り
	9日	自衛隊派遣を国会承認
	4月	日本人3人が人質に、自衛隊の撤退を要求
	6月	自衛隊の多国籍軍参加を閣議決定
	6月28日	主権移譲

2、

アメリカ兵等の犠牲者数 約1000人

イラク民間人の犠牲者数 1万人以上

・ <http://www.iraqbodycount.net/>

・ <http://icasualties.org/oif/>

・

3、

（基本方針）

- ・ イラクがイラク人自身の手により一日も早く再建されるよう、国際社会の意思を踏まえ、主体的かつ積極的に、できる限りの支援を行うこととしている。「イラク人道復興支援特措法」に基づき、人道復興支援活動を中心とした対応措置を実施することとする。

(活動)

○自衛隊

・ 医療

病院の運営・維持管理について、イラク人医師等に対して助言・指導。地域住民の等の診療を実施する

・ 給水

河川等の水を浄化し、生活用水の不足する地域の住民に配給する

・ 学校等の公共施設の復旧・整備

学校、かんがい用水、道路等の公共施設の改修を実施する

・ 人道復興関連物資等の輸送

航空機により人道復興関連物資等の輸送を実施する。

○イラク復興支援職員(一般職の国家公務員で対応措置に従事する内閣府本府の職員)

・ 医療

イラク国内の医療環境を改善するため、主要な病院の機能を立て直すことを目指し、その運営・維持管理について、イラク人医師等に対して助言・指導等を行う。

・ イラクの復興を支援する上で必要な施設の復旧・整備

浄水場等の公共施設の復旧・整備として、これらの公共施設への発電機の設置等を実施する。

・ 利水条件の改善

給水状況、取水源等について調査の上、自衛隊の部隊等による給水活動との連携を考慮しつつ、住民自ら維持できる浄水・給水設備の設置等の建設活動を実施する。

・ 医療機材の搬入、文房具・サッカーボールなどを送る

・ <http://www.jda.go.jp/jgsdf/>

・ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/top/iraq/iraqtop.htm>

・ <http://www.jda.go.jp/>

・